

「奈良町の安全・安心・快適な住まい&まちづくり」研究と提案 進捗状況や問題点、今後の課題等

<実態調査の進捗状況>

中新屋町の実態調査については、ヒアリング項目を設定し、自治会会長をはじめ、前会長や独居高齢者についてヒアリング調査を開始した。高齢者のヒアリングについては、持病等による通院や入退院、体調等、スケジュールの調整が難航しており、全体像を把握するに至っていないが、ヒアリング完了した3名内容を見る限り、防災面での不安等多くの共通点があり、他についての結果をまたずしてプロジェクトを進めることが可能と判断し、今後の進捗にあわせ、じっくりヒアリングを行なって行きたいと考えています。

行政等に対するヒアリングについては、活動内容に記載するまでもなく、奈良県の防災課や奈良市の防災課、消防局と連絡し、協力を仰ぎながらプロジェクトを進めています。

<ワークショップ開催の進捗状況>

7月18日に第1回のワークショップを開催し、中新屋町の良い点、問題点を自治会のメンバーと共に抽出、以降のワークショップの方向についても話し合わせ、当初予定していた身障者の障害をテーマとするより、より現状に則した方向性の課題とし、第2回を防災をメインテーマとしました。第2回のワークショップは中新屋町であった過去2回の火災の消火活動経験がある奈良市消防団春日分団の方々をお招きし、防火、防災について内容の濃い話し合いができたと考えています。第3回については、最近増加している空き巣や緊急時のフォローについて、防犯の専門家の若林氏をお招きし、セキュリティの考え方や防犯の専門性、即応性について話し合わせました。

今回の第4回ワークショップについては、奈良町で行なわれているイベント「賑・ならまち25」に合わせ、フォーラム形式にて開催しました。

関西電力や近鉄ケーブルネット等の企業の事例紹介、歴史的な街並み地域の先進事例として今井町の防災についての事例、奈良市消防局の文化財防災官や地元社会福祉協議会の立場によりアドバイスを戴こうと考えており、全体のまとめとして、まちづくりがご専門の大阪市立大学大学院教授の藤田忍氏によりコーディネートをいただきます。

<今後の課題等>

ワークショップや実態調査については、当初スケジュールより2ヶ月ほど遅れており、システム提案についての作業等に影響が出ないように進めなければならないと考えています。

ワークショップ等により多くの協力者との出会いがあり、新潟の地震や台風被害等による防災意識の高まりの中、今回のプロジェクトへの協力関係者対応について、非常にスムーズに進めていくことができていますが、今後のデスクワークについては、スタッフ及び協力者への執筆依頼について、プロジェクト推進会議を充実して進めて行きたいと考えています。